

かんまき 議会だより

第100号
平成29年5月1日号



上牧にも新幹線
(上牧第1保育所横)

TOPICS

- 29年度予算 2～4
- 3月定例会・議会日誌 4～7
- 議決結果 8
- 一般質問 9～14
- みなさんと語り合う座談会
(第5回議会報告会) 15
- 三重リサイクルセンター視察 15
- 100号を迎えた議会だより 16

●●●●平成29年度の各会計予算を可決●●●●

平成29年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、住宅新築資金等貸付事業、下水道事業、水道事業の予算7議案については、3月22日の本会議で、予算特別委員長報告のとおり可決されました。

一般会計

71億9,500万8千円

入 る お 金	23億9,444万5千円	地方交付税	予 算 概 要 （ 骨 格 ）	民生費	18億8,890万1千円	使 う お 金
	21億3,082万2千円	町 税		公債費	13億6,395万3千円	
	7億3,920万3千円	国庫支出金		総務費	9億2,071万6千円	
	5億7,292万7千円	町 債		衛生費	8億5,557万5千円	
	4億5,363万3千円	県支出金		教育費	6億5,258万4千円	
	2億9,675万1千円	地方消費税交付金		諸支出金	6億3,197万6千円	
	1億9,590万6千円	使用料及び手数料		土木費	4億4,623万円	
	1億2,472万2千円	繰入金		消防費	2億8,736万円	
	8,998万9千円	分担金及び負担金		議会費	1億733万5千円	
	4,901万3千円	地方譲与税		農林商工業費	3,537万4千円	
2,820万7千円	配当割交付金	予備費	500万円			
1億1,939万円	その他※	災害復旧費	4千円			

※その他は、
 利子割交付金・株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金・財産収入・寄附金・繰越金・諸収入

特別会計

62億1,290万円

国民健康保険	32億2,960万5千円
後期高齢者医療	3億1,213万1千円
介護保険（保険事業勘定）	20億4,758万8千円
介護保険（介護サービス勘定）	1,084万8千円
住宅新築資金等貸付事業	261万8千円
下水道事業	6億1,011万円

企業会計

5億299万6千円

水道事業 （収益的収入）	5億299万6千円
-----------------	-----------

予算特別委員会報告

平成29年度の予算7議案は全会一致で可決

3月7日の本会議で設置された予算特別委員会（委員長・辻）は、委員長のほか委員5名（長岡、石丸、竹之内、牧浦、康村）で、10日と13日の2日間行われた。

同委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築等貸付事業特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計7会計で、それぞれの会計予算について慎重審議の結果、全委員意義なく、原案の通り可決した。

なお、これら7議案は、3月22日の本会議でも全会一致で可決した。

★予算の概要

平成29年度一般会計予算は、町長選挙後の骨格予算ではあるが、予算の総額は歳入歳出それぞれ71億9,500万8千円で、前年度対

比0.7%、金額で5,290万円の増額となった。

増額の要因として、「上牧町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略」関連の事業に8,531万7千円、道路整備事業に8,946万7千円、橋梁補修・耐震工事に9,520万円、服部台・明星線道路改良事業に5,613万4千円、焼却場煙突解体工事に4,970万円などの計画的継続的の事業が含まれている。

地方債については、6億6,957万4千円減少し、121億1,384万5千円となる見込みである。

特別会計の歳入歳出総額は、国民健康保険特別会計は32億2,960万5千円、後期高齢者医療特別会計3億1,213万1千円、介護保険特別会計20億4,758万8千円、住宅新築資金等貸付事業特別会計261万8千円、下水道事業特別会計6億1,011万円、水道事業会計5億2,999万6

千円が計上された。

★一般会計予算

【統括】

今回の予算総額は約72億円で、骨格予算である。町長3期目の施策は肉付け予算として、6月に計上されると思うが、規模はどの程度か。

答 9千万円から1億円程度を見込んでいます。

問 小・中学校にエアコンを取り付けて頂きたいが。

答 町長も所信表明しておられ、前向きに検討する。

【歳入】

問 町税4税（町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）の合計は、前年度比でマイナス0.8%の計上であるが説明を求めます。

答 過去4年間の実績を見て計上している。平成26年度から28年は、大型店舗出店や「ささゆり台」の入居があったが、平成29年度は大きな開発はなく、増収は見込んでいない。

問 体育施設の使用料の減額について説明を求めます。

答 第2体育館が耐震改修工事を行ない、また第1テニスコート、第2テニスコートも改修予定で、その間使用できないため減額した。

【歳出】

問 生涯活躍のまち構想事業の内容説明を求めます。

答 国の地方創生事業の交付金事業であり、上牧町では3ヶ年計画で行う。平成28年度は「まきつ子塾」に活用した。平成29年度は創業支援、また、大学連携による生涯出前講座の実施、空き家を利用してアクティブシニアの移住促進「コンシェルジュ」等の事業である。

問 塵芥処理費について、前年度比で、約1億円増えている要因は。

答 昨年11月から可燃ごみの運搬処理を民間委託しており、29年度は、1年分の計上である。



撤去予定の焼却場煙突

総務建設委員会報告

問 ロタウイルスワクチン、おたふくワクチン助成事業費の説明を。

答 ロタウイルスワクチンは、1回上限7,000円、30人2回を見込んでいます。おたふくワクチンは上限3,000円、50人の1回利用を見込んでいます。

問 臨時教員等賃金が1,200万円増額の説明を求めます。

答 幼稚園、小・中学校で特別支援が必要な子どもたちに、対応するため、支援スタッフを増員する。

★国民健康保険特別会計

問 財政調整基金は、平成30年度より、この制度が県に移行するので、町との差額を緩和するために予備費として積み上げるものと理解している。このへら積み上げるのか。

答 額はまだ決まっていない。基金については、県に収める納付金の不足分に充てる。国が概ね6年間で定めている激変緩和措置期間内に、上牧町独自の軽減緩和に使う予定である。

★介護保険特別会計

問 第7期介護保険事業計画策定

の説明と、6期最後となる今年度「総合事業」の説明を求めます。

答 第7期は2018年度から2020年度の3年間の事業計画を6期の医療分析を踏まえ、16名の委員で構成する委員会にて策定する。

総合事業は地域全体で高齢者を支える新しい仕組みである。現在の要支援1・2の人が利用する予防給付のうち、ホームヘルプとデイサービスが総合事業に移行する。



★水道事業会計

問 利益剰余金が約8億1千万円あるが、水道料金の減額はどうか。

答 いずれ施設の老朽化のため、水槽施設の更新をしなければならぬので、今のところ水道代の減額は考えていない。

■上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会設置条例の制定

問 検証委員の選任に関し、策定委員の再任が望ましいがどうか、また総合的な検証はどこで行うのか。

答 一般公募住民は再度募集し、再任も含め考えている。全体的な検証は、部課長会で行う方針である。

■上牧町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定

問 農業委員の選出方法はどのようになるのか。

答 従来は選挙による選任8名、団体推薦3名であったが、改正により12名全員を町長が議会の同意を得て選任することになる。

■上牧町ささゆりルーム設置条例の一部改正

問 アピタ2階へのささゆりルームの増設とこれまでの事業の扱いはどうなるのか。

答 1階部分の約45坪を新たに導

入する子育て支援事業（仕事と子育ての両立）に使用し、2階に25坪程度を増設して秋頃から従来のささゆりルームでの事業を継続する。

■上牧町税条例等の一部改正

問 主な改正点と税収への影響について

答 個人住民税の住宅ローン減税を2年間延長、法人税割の引き下げによる税収への影響は、地方交付税で補てんされるので影響は少ない。

■平成28年度一般会計補正予算（第5回）

2億7,664万5千円増額
 問 繰越事業が8事業で合計4億7,469万7千円が計上されているが、その内容は。

答 主なもので、上牧第一小学校水泳プール1億6,131万8千円、上牧中学校渡り廊下改築事業7,457万6千円、庁舎西館耐震補強及び改修事業7,634万円、

第一体育館耐震補強及び改修事業
8,975万1千円など、いずれも平成28年度補正予算で計上され、年度がまたがるため繰越明許とした。

問 道路橋梁費国庫補助金1,887万2千円の減額理由は。

答 国庫補助金の内示により減額となり、歳出では橋梁補修・耐震工事が3,265万1千円の減額となった。

問 光熱水費が財産管理費で100万円、諸費で300万円それぞれ減額であるが、電灯のLED化によるものが。

答 LED化の影響もあるが、当初関西電力の電力代値上げを見込んでいたが、値上げがなかったことによる。

問 自治会の防犯灯は、どれくらいLED化になっているのか。

答 24の自治会のうち17の自治会で申請があり、全体で約2,900本のうちLED化申請対象は1,600本から1,700本程度で、

そのほぼ8割にあたる1,500本くらいがLED化になっている。

問 不動産売却収入135万8千円は、三セク債償還に積立計上すべきではないのか。

答 道路用地として土地開発公社から町が買い取った土地であり、三セク債償還基金に積み立てる必要はない。

問 上牧久渡古墳群の今後の計画はどのように進めるのか。

答 今後の取り組みとしては、活用計画と整備計画であり、国とも協議中である。そのため平成29年度に協議会を立ち上げて検討していく。

問 介護保険特別会計繰出3,391万8千円の減額の理由は何か。

答 介護報酬の改定や施設入所している要介護者の死亡や体操教室等の介護予防の取り組みの成果も現れており、減額となっている。

■上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

■特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

■一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

■職員の育児休業等に関する条例の一部改正

■企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

■公の施設の指定管理の指定について

以上採択の結果、全委員、異議なく可決いたしました。

■「テロ等組織犯罪準備罪」(共謀罪)法案阻止を求める意見書(案)

東議員より一名の賛成議員と共に提案がありました。委員会では牧

浦委員より、「国民にいたずらな不安を招かない配慮と、国際社会でテロを未然に防ぐには、国内法がきちんと作動することが重要である」との反対討論がありました。

本会議では、康村議員からも反対討論がありました。また、辻議員・石丸議員・遠山議員からは賛成討論がありました。

賛成の理由は、「刑法の考え方に反する」「組織犯罪集団の定義がいまいであり、一般人も処罰の対象となる」などです。

採決の結果、賛成少数で否決されました。



文教厚生委員会報告

■上牧町第5次総合計画について

問 進捗管理については、どの部署が主体となって実施していくのか。総合戦略のような検証委員会を立ち上げる計画はあるのか。

答 検証委員会を立ち上げるかは今後検討していきたいが、現段階では、政策調整課と財政の方が中心となつて、担当課とも優先順位を話



し合いながら、中長期財政計画の中で議会にも実施計画を示して実施していきたい。

問 総合計画の見直しについては、上牧町まちづくり基本条例の規定に従い、町民が参画する場を積極的に設けて頂きたいがどうか。

答 参画していただく方法を検討していきたい。

■上牧町バリアフリー基本構想策定協議会設置条例の制定

問 協議会の開催予定回数。
答 平成29年度は5回を想定している。

問 協議会の委員構成について。

答 基本構想素案を策定したNPO法人のメンバーにも入っていただく。また、視覚障がいの方や聴覚障がいの方も加わっていただければ検討したい。

■上牧町いじめ対策連絡協議会等条例の制定

問 関係機関との連携や情報共有について。

答 教育委員会として一学期に一回程度会議を開く予定になっている。

問 いじめについて相談するということ

ことは本人・家族にとっては緊急事態であり、緊急の場合には、マニュアル通り順番に対応するのではなく迅速な対応はできないか。

答 調査しないと状況を把握できないが、緊急性が高い場合は、臨時委員を追加してでも緊急に対応するようになっている。

■平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

問 平成28年度の医療費の状況について。

答 大きく伸びた平成27年度に比べ、医療費はやや下がる見込みである。

■平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

問 保健事業費の委託料増額について。

答 特定健診について、受診者500人を見込んでいたが、今回55人分をさらに増額するためである。

■平成28年度介護保険特別会計補正予算(第4回)

問 居宅介護サービス給付費2億4千万円の減額について。

答 第6期事業計画(平成27年〜29年)で伸びを見込んだが、サービスの利用が減った結果である。



■平成28年度水道事業会計補正予算(第3回)

■給水収益金1,200万円の減額について。

■給水戸数が前年に比べ、120戸減っているのが主な要因である。

■上牧町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

■上牧町介護保険条例の一部改正

■平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)

■以上採択の結果、いずれも全委員、異議なく可決いたしました。

■際限ない年金減額ストップで若者も高齢者も安心して暮らせる年金制度の改善を求める意見書(案)

■東議員より一名の賛成議員(石丸議員)と共に提案がありました。

■遠山委員より、年金制度改革関連法は、短時間労働者への被用者保険の適用拡大の促進や国民年金第1号被保険者の産前産後期間の保険料の免除等の部分については有意義な立法なので、法の廃止ではなく見直しを求めるべきだと思いがどうかとの質疑があり、提案者より法案は一旦廃止し、再度法整備をすべきと考えるとの答弁がありました。

■また、長岡委員より、この年金制度改革関連法の中には、500人以下の中小企業で働く短時間労働者も厚生年金に加入できることや、産前産後の4か月間、保険料は免除になり、国民にとっては有益であるとの反対討論がありました。

■採択の結果、賛成少数で否決いたしました。

委員会付託 しなかつた議案

■平成28年度一般会計補正予算(第4回) 専決処分

■子育てママ支援事業として1,488万円を計上。

■副町長の選任

■任期満了に伴い、次の方が選任・同意されました。

■西山 義憲さん(御所市) 新任

■政治倫理審査委員会委員の選任

■任期満了に伴い、次の方が選任・同意されました。

- 前田 春樹さん(大阪市) 再任
- 林 智良さん(伊丹市) 再任
- 大橋貴美子さん(上牧町) 再任
- 西田久美子さん(上牧町) 再任
- 篠崎 雄爾さん(上牧町) 再任
- 隅田 泰徳さん(上牧町) 再任
- 永井 實さん(上牧町) 再任

議会日誌

(1月)

- 7日 町消防団出初式
- 9日 町成人式
- 11日 広報委員会
- 12日 北葛城郡町議会議長会
- 14日 北葛支部連合出初式
- 16日 総合計画審議会(第10回)
- 18日 空き家等対策協議会(第1回)
- 19日 ごみ処理問題特別委員会(第4回)

(2月)

- 3日 北葛城郡町議会議長会総会
- 4日 第5回議会報告会
- 6日 空き家等対策協議会(第2回)
- 13日 三重リサイクルセンター視察
- 13日 議員懇談会
- 20日 議員懇談会
- 21日 山辺・泉北西部広域環境衛生組合議会
- 22日 葛城地区清掃事務組合議会
- 23日 静香苑環境施設組合議会
- 27日 三重県大台町議会議員研修
- 28日 県広域消防組合西和地区報告会

(3月)

- 2日 空き家等対策協議会(第3回)
- 3日 議会運営委員会
- 7日 第1回定例会(初日)
- 8日 全員協議会
- 9日 総務建設委員会
- 10日 文教厚生委員会
- 15日 13日 予算特別委員会
- 16日 一般質問(3名)
- 17日 議員懇談会
- 21日 一般質問(3名)
- 22日 一般質問(3名)
- 24日 奈良県町村議会議長会定期総会
- 27日 一般質問(5名)
- 30日 第1回定例会(最終日)
- 27日 議員懇談会
- 24日 広報委員会
- 27日 町シルバー人材センター理事会
- 27日 町社会福祉協議会理事会
- 27日 王寺周辺広域市町村圏協議会
- 27日 王寺周辺広域市町村圏協議会

平成29年3月 定例会の議決結果

(平成29年3月7日～22日)

○賛成 ●反対 -除斥 ×棄権 空白は欠席

議 案 名	議決結果	石丸典子	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	辻誠一	長岡照美	富木つや子	服部公英	堀内英樹	康村昌史	東 充洋	吉中隆昭
専決処分報告	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町一般会計補正予算(第4回)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町第5次総合計画	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会設置条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町バリアフリー基本構想策定協議会設置条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町いじめ対策連絡協議会等条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町ささゆりルーム設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町税条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町税条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町一般会計補正予算(第5回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町水道事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町政治倫理審査会委員の選任 ※1	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
副町長の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「テロ等組織犯罪準備罪」(共謀罪)法案阻止を求める意見書	原案否決	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	
際限ない年金減額ストップで若者も高齢者も安心できる年金制度の改善を求める意見書	原案否決	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	

議長は採決にわかりません

※1 上牧町政治倫理審査会委員の選任は、7議案あったが一括審議した。

一般質問一覧

遠山健太郎	1. 上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2. 各種証明書のコンビニ交付について	石丸 典子	1. ごみ処理について 2. ペガサスホールの活用について
堀内 英樹	1. 公共施設等総合管理計画の推進について 2. 新公会計制度の運用開始について	富木つや子	1. 地方創生 2. 子育て支援
牧浦 秀俊	1. 上牧町人口ビジョン、まち、ひと、しごと創生総合戦略の進行管理について 2. 平成28年度奈良県教育サミットでの全国学力・学習状況調査で、奈良県学力・学習状況調査の結果について 3. 4月からの介護保険の新しい事業「総合事業」の協議体について	長岡 照美	1. 母子の健康と子育て支援策について 2. 小型廃家電の回収運動で東京五輪・パラリンピックの大会メダルを
辻 誠一	1. 生活道路の安全・維持管理 2. 美しい上牧町に滝川の美化を 3. 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略	康村 昌史	1. 安全・安心なまちづくりについて 2. 少子化対策について 3. ペガサスホールについて
服部 公英	1. 社会教育について 2. 防災対策について 3. 下水道整備及び住環境整備について	竹之内 剛	1. 発達障がいを持つ乳幼児の療育教室について 2. 金富、梅ヶ丘線町道について
		東 充洋	1. 安全・安心なまちづくり対策について 2. 元土地開発公社用地の管理運営について 3. 福祉について



遠山健太郎

各種証明書のコンビニ交付について ～利便性だけではなくしっかりとしたセキュリティ対策を～

問 コンビニ交付システムは住民の皆さまの生活に直結する施策です。このシステムの説明をお願いいたします。

答 上牧町に住民登録があり、電子証明書が搭載された個人番号カードをお持ちの方が、住民票の写しと印鑑証明書を取得できるシステムです。手数料は200円で全国のコンビニエンスストアにあるキオスク端末で取得できます。

問 コンビニ交付システムは、運用の安全面について問題点も色々指摘をされています。今後セキュリティ面をまず第一に考えた施策展開をして頂きたいと思えます。次に、このシステム導入に伴い課題や要した費用対効果についてうかがいます。今回のシステム導入には多くの費用がかかっています。導入するポイントはなんですか。

答 住民の皆さまにとっては、役場に行かなくても勤務先や外出先などの最寄りのコンビニで証明書の取得できるので利便性が向上します。また役場としても、窓口業務の負担を減らすことができるなどのメリットがあると考えています。

道路建設から既存道路の維持管理へ

— 街区道路の補修促進を —



堀内 英樹

- 問** 総延長が87・6キロメートルに上る町道の現状はどうか。
- 答** 近年においては、都市計画道路の米山・新町線及び桜ヶ丘・新町線を整備した。難航していた服部台・明星線についても近く着手し、幹線道路の一定の整備は完了する。街区道路については、整備年度が古い道路の老朽化が進み、長寿命化対策に着手しなければならぬ時期に来ている。
- 問** 舗装道路のうち更新工事済みが11・7キロメートル（総延長の13・4％）に留まり、街区道路（家の前の道路）に手が回らず住民の悲鳴が聞こえるが…
- 答** 幹線道路は色々な財源も使いながら一定の補修は出来上がって来ている。街区道路では陥没や継ぎはぎだらけも多く見受けられるのが現実である。他の事業も多くあるので、バランスの取れた中でやって行くしか手がない。ただ何時までも道路が直らないとなると、指摘のことも考慮しながら取り組んで行く。
- 問** 町長施策の「道路交通網の整備」は、新道路建設より既存道路更新であると考えるがどうか。
- 答** 財源の調整を図りながら、その部分も併せて取り組む。

上牧町人口ビジョン

— まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証 —



牧浦 秀俊

- 問** 主だった事業について、基本目標及び基本的方向に基づく施策、取組内容のなかで実行されたものについて、進捗状況をつかっています。
- 答** ①子ども学力支援として放課後学習「まきっ子塾」があります。小学3年生までの低学年の学習の習慣を身につけることにより、学力の向上を目指すもので好評でかなりの児童が参加しています。
- ②地域ぐるみの子育て情報拠点の整備の中で、地域パートナーシップ事業は、各小学校で、地域のボランティアが組織されました。
- 本の読み聞かせ、図書室の本整理、家庭科授業の中でミシンの使い方のアシスト等、中庭で生徒と共に花壇整理、草刈りなどの業務を担当しました。教育環境の向上に効果が上がっています。
- ③婚活イベントでは、前年度2回実施されました。カップル成立は非常に高く約7割あります。
- ただ、上牧町在住の方が少ないのが残念である。また、どこまでかわって行くのか、上牧町以外の方々がどうすれば上牧町に住んでくれるのか課題もみえてきました。



辻 誠一

生活道路の安全と維持管理を

—緊急を要するものは早急に—

問 昨年12月議会で補正計上された6つの道路水路管理補修工事の進捗状況は。

答 ①和食さと付近の駐車場出入り口の補修は3月末に。②新町の里道補修は完了。③桜ヶ丘地区他の側溝補修は4月初旬に完了予定。④服部台2丁目交差点のマンホール補修は完了。⑤緑ヶ丘の道路側溝蓋設置は完了。⑥服部台LED街路灯は3月未完了予定。

問 通学路の安全確保で滝川台1号線の三差路に横断歩道の設置要望が強い。29年度にはこの道路の整備事業が予定されているがどうか。

答 設置する方向で協議している。

問 桜ヶ丘2丁目、ファミリーマート前の歩道補修が簡易すぎる。路盤から改良すべきであるが。

答 補修を検討しているが、補助金待ちの状況である。

問 桜ヶ丘地区西名阪道沿いの歩道の桜並木は春には大変美しい。根元は歩行妨げで切断するのでなく、植樹帯として保護し、通行も可能にすることを提案する。

答 検討する。



服部 公英

社会教育(人権教育)について

問 2016年12月9日に部落差別の解消の推進に関する法律が参議院本会議で可決成立しました。この法律は国や自治体の責務として相談体制の充実や教育・啓発の推進、部落差別の実態に係る調査の実施、部落差別の解消を推進、もって部落差別のない社会を実現することを目的としています。

当町としては松浦勇太郎先生を先頭に多くの先生方が人権教育推進に取り組んで来られた歴史のある町です。そこで、当町としてこの法律の制定を受けて、具体的に国・県とどのように連携して、部

落差別の解消に取り組むのか、合わせて教育方針についても聞かせてください。

答 上牧町では、法律の趣旨をふまえ、同和問題の解決のため、国や県と連携しながら引き続き積極的に取り組んでいます。教育方針については、部落差別を正しく認識し、子ども達が様々な場面や状況下でも豊かな人権感覚に裏付けられた態度や行動がとれるように、参加体験型の学習を取り入れるなど人権教育の充実に努めて参ります。

ペガサスホールで町民参加の音楽会を



石丸 典子

問 ペガサスホールは、再開され、一年半が経過しました。

答 平成28年度は、11月3日、公募による10組の演技発表が行われ、また11月26日と27日には、スタジオウェイ・ピアノ開放でペガサスホールが利用されました。これらの取り組みを発展させ、舞台ボランティア育成の観点から町民の行事として町民による音楽会の開催を提案します。

問 思うが応募いただけるか心配もあります。

答 河合町まほろばホールでは、毎年2月に参加者公募の「ミュージックフェスティバル」が26年間続いていきます。私も見に行きましたが、上牧町の方が大勢出演され、聞きに行かれていますことに驚きました。ペガサスホールでも、文化活動の発表で町内の世代間の交流が広がればと願っています。町長のお考えは。



問 文化活動の支援は行いたい。担当部署で検討させます。



富木つや子

子ども医療費の窓口無料化は中学卒業まですべき

問 市町村が独自で行っている子どもの医療費助成に対し、国は医療費の増大を招くとして国保の補助金の減額調整を行なってきたようですが、平成30年4月より未就学児までを対象とする助成について、減額調整措置を行わないと決定しました。本町の現状と支払い方法は。

問 荒井県知事に対しては、国の結論を

踏まえて「子どもの医療費の窓口無料化に向け、市町村との検討の場を速やかに立ち上げ見直しを行なうこと」を求め、中学3年生まで行なうよう申し入れしました。知事は認識を共有するため、市町村との勉強会を開く考えを示しました。町長のお考えは。

答 市町村それぞれ状況が違いため、認識を共有するための勉強会は重要である。この機会に、中学卒業まで医療費の窓口負担のない形に進めていくべきと本町としても積極的に発言していく。



長岡 照美

東京五輪・パラリンピック メダルを環境教育で

—金メダル約1,500個に必要な金は携帯電話約32万台分—

問 小型廃家電の回収運動で2020年の東京五輪・パラリンピックの大会では金・銀・銅のすべてのメダルを再生金属で賄う史上初の取り組みです。皆さんに協力していただき各自治体での回収をする予定ですが、町の取り組みについて伺います。

答 平成27年から携帯電話や小型家電回収ボックスを設置しているところですが、回収金属で大会メダルを作る国の「みんなのメダルプロジェクト」への入会をさせていただきました。東京五輪にむけ回収目的や成果など、協力いただけるように広報やホームページで周知を行います。

問 未来に向かって頑張っている子ども達はオリンピック、パラリンピック大会を迎える2020年には現在の小学6年生は高校1年生となり、中学3年生は高校を卒業して1年目の年を迎えます。環境教育についてお尋ねします。

答 現在、小学4年生の社会科でリサイクルの学習を行っています。今後この単元で小型家電のリサイクルを入れた学習を行いながら「みんなのメダルプロジェクト」の啓発を行います。



康村 昌史

犯罪被害ゼロ100日運動

—安全・安心なまちづくり—

問 毎年9月になると西和警察署管内で、いろいろな団体が年末まで、犯罪被害ゼロ100日運動を行っている。自主防犯・防災の先進地である、西大和6自治会連絡会（桜ヶ丘3大字と片岡台3大字）も、この活動に参加している。

しかし、西大和6自治会管内で、平成28年のこの活動期間中に、14件の犯罪が発生し、平成27年の10件に比べて犯罪被害が増えた。非常に残念な結果になったが、自主防犯活動は、継続性、地道さが大事である。今一度自主防犯活動の内容を見直すために、他の上牧町内の自主防犯

活動の内容を教えてください。

答 青パト、見回りパトロール、登下校時の見守り等の地道な活動をされている。また、上牧町としては、主要幹線道路に防犯カメラの設置と街路灯のLED化を順次行い、防犯に役立てようと考えている。

問 自主防犯団体は、後継者不足で、非常に困っているが、上牧町の職員がもっと主体的に各団体の活動に関わってはどうか。

答 上牧町の行政にとっては、住民の協力が不可欠であり検討する。



竹之内 剛

平成29年度療育教室の開設決定 インクルーシブ教育システムの構築を目指して

問 就学前の発達障がい児の療育訓練施設、つまりは療育教室の設立に向けての取り組みの進捗について質問する。

答 保護者に継続して相談を受けられるように知識経験の十分な保育士二名の予算を計上した。その後は、臨床心理士、備品関係等を整備する予定である。本格的なスタートは肉付け予算が成立してからになる。

問 教室の対象年齢についてはどうか。

答 従来通り就学前の子どもが対象となる。保護者の希望があれば乳幼児も対象とする。

問 場所と運営日はどうなるか。

答 場所はペガサス教室の一角、開催頻度は週2回の予定で考えている。

問 教室への申請方法についてはどうなるのか。

答 わかりやすいしおりを今後用意する予定である。

問 ペガサス教室と療育教室をつなげる仕組みについて意見を聞きたい。

答 今回、福祉と教育の顔の見える関係ができたと考えている。色々な障がいをもつ子どもが社会の中で皆と一緒に生きていくことは重要であり、そこを注視していきたい。



東 充洋

認知症の実態について —認知症で障害者手帳が取得できるケースがある—

問 認知症800万人時代と言われているが、上牧町の住民の方で認知症と診断され、障害者手帳を取得されている人の人数について答弁を求めます。

答 認知症と診断されている人数は、軽度・重度の判断基準また、介護認定を受けられる時の調査認定項目により、概ね603名おられます。その内、精神障害者手帳を取得されている人の中で、認知症の方は7名です。

問 障害者手帳を取得するには医師の診断が大きく左右すると聞き及んでいます。認知症の度合いにもよると思われるが、

障害者手帳を取得した場合、医療費の助成、介護保険料引き下げ、住民税非課税等々の負担軽減があります。今後、認知症で悩まれる家庭が増加することが予想されます。役場窓口への相談も増加すると思われるため、障害者手帳を取得するための説明等親切な対応を求めます。

答 認知症については、医療機関に相談していただくのが一番です。そして、町の窓口に来ていただき、諸手続きがあれば十分説明いたします。また、町の認知症相談も受付いたしますのでご利用いただけます。

みなさんと語り合う座談会(第5回議会報告会)

上牧町議会報告会を2月4日

(土)午後1時30分より2000年
会館(多目的ホール)で行いました。
議会からは

1、平成27年度決算報告
2、ごみ処理について報告しました。

その後、質疑応答に入り、多くの
意見をいただきました。
報告会終了後にアンケート調査を行
いました。

①開催希望回数(年間)
②議会報告会の感想

③行政や議会に対する意見
などをご記入いただきました。
報告会の意見や質疑応答の要旨
は、ホームページでご覧いただけま
す。

3月22日(水)議会報告会で皆
様からいただきました意見や要望
について話し合いを行いました結
果、「開催回数については年2回が
多く」議会基本条例でも毎年1回
以上開催しており今後について、
皆様のご意見を反映していきたいと

考えています。

また、多くのご要望の中で「公民
館の整備計画を示して欲しい」との
意見について、公共施設等総合管理
計画(案)では集会施設等の方針
は今後検討となっていることから
一般質問などで対応を検討してい
きたいと考えています。
今後も皆様のご意見を議会審議
に反映していきたいと考えます。



三重リサイクルセンターを視察しました

上牧町の「可燃ごみ」の処理方
法が、平成28年11月から大きく変
わりました。各家庭からの収集場
所へのごみ出し方法はこれまで通り
ですが、収集したごみは中継施設で
積み替え、三重リサイクルセンター
へ移送し焼却処分しています。これ
に伴い長年使ってきたごみ焼却炉は
閉鎖し、平成29年度に煙突の解体
工事が行われます。

2月13日(月)に議会として、「移
送されたごみがどのように処分さ
れ、活用されているのか」をテーマ
に同センターの視察研修を実施しま
した。大栄環境グループを母体と
する三重中央開発(株)によって運
営されています。

三重県伊賀市に位置し、名阪国
道白檜インターに近く、上牧町か
ら車で約50分程度です。先ず目に
付くのは、広大な敷地に大規模な
焼却施設(1日に600tの処理能
力)があり、ごみ全般の再資源化
を図る各種の処理施設や管理型最
終処分場(600万㎡)まで設け
ています。

このグループ会社の特色は、「ご
みの徹底的な再資源化」にあります。
その背景として年々増加する廃棄
物排出量や環境規制の強化に対応
するのが狙いです。一例としてごみ
を燃やして発電を行うほか、発生
する熱を温室や乾燥炉にも利用し、
焼却灰で土木資材を作るなどです。
こうした取り組みや焼却場の建設の
難しさもあって、自治体からの委託
(平成27年度で287団体)が増加
傾向にあります。



100号を迎えた議会だより

「上牧町議会だより」は、昭和63年1月25日に創刊され、今号で100号になりました。

創刊号から第27号（平成11年2月1日号）までは、議会事務局の手で作成されていました。

第28号（平成11年7月1日号）から、広報委員会による編集が始まり、次の経過で現在の「議会だより」となりました。今後さらにわかりやすい広報紙になるよう努力していきます。

- 第28号 平成11年7月1日から
 - ・広報委員会による編集開始
 - ・議案の説明をわかりやすく掲載
 - ・一般質問をQ&Aで掲載
- 第46号 平成15年11月1日から
 - ・議員名を入れた一般質問の掲載
- 第85号 平成25年8月1日から
 - ・委員会報告
 - ・議決結果
 - ・顔写真、議員名を入れた一般質問



創刊号
(昭和63年1月25日号)

編集後記

▼平成29年3月、今中町長3期目の再選により、新しい町政が始動しました。▼議会におきましては気を引き締めて開かれた運営に努め、より良い町政の実現に繋げていきたいと考えています。▼町民の皆様の見解・要望・提案をお願いします。

0745-76-1001
0745-76-1003
広報委員会

- 委員長 辻 誠一
- 副委員長 牧浦 秀俊
- 委員 石丸 典子
- 委員 竹之内 剛
- 委員 遠山健太郎
- 委員 長岡 照美
- 委員 堀内 英樹

5月の臨時会は 5月15日開催予定

- ・第1回上牧町議会臨時会
平成29年5月15日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成29年5月11日(木)
午前10時から